

# 令和6年度組織目標

部局名	琵琶湖環境部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○造林公社の抜本的見直し</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の公益的機能を見据えた100年の森づくりについて、森林審議会での議論3回程度、琵琶湖森林づくり基本計画に反映</li> <li>・検討委員会での議論3回程度、年度内に森づくりの方向性の取りまとめ</li> </ul> </p>
	<p>○市町や関係部局と連携した円滑な下水道事業の推進</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町長との調整による令和7年度の事業計画の策定、および污水处理施設整備構想の見直し（令和7年度まで）</li> <li>・公営企業法の適用や上下水道の連携など、円滑な下水道事業の推進に向けた体制の検討</li> </ul> </p>
	<p>○世界に通じるびわ湖の価値の発信</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界水フォーラムにおける「世界湖沼デー」の制定に向けた発信</li> <li>・多様な主体との共創によるびわ湖の日（7/1）から山の日（8/11）までの「びわ活」の取組強化（ラーケーションにつながる取組等）</li> <li>・部内若手職員によるびわ湖や生物多様性（生態系サービス）の価値の可視化に向けた勉強会の開催</li> </ul> </p>
	<p>○CO<sub>2</sub>吸収源対策としての主伐・再造林の推進</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・再造林面積40haの実施と林道・林業専用道等の計画的な整備を推進する。</li> </ul> </p>

所属名	環境政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○「びわ湖の日」から始まる「びわ活」の取組強化</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体との共創によるびわ湖の日（7/1）から山の日（8/11）までの「びわ活」の取組強化（ラーケーションにつながる取組等）</li> <li>・琵琶湖の姿をわかりやすく紹介する「琵琶湖ハンドブック」の改訂</li> </ul> </p>
	<p>○琵琶湖博物館の水族展示全面再開と万博を契機とした誘客力向上</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・破損した水槽の再整備</li> <li>・琵琶湖博物館の魅力向上につながる企画立案</li> </ul> </p>
	<p>○【見直し・効率化】 フロン排出抑制法に基づく手続きのオンライン化</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一種フロン類充填回収業者の登録申請等に係る手続きのオンライン化</li> </ul> </p>

所属名	琵琶湖保全再生課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○「世界湖沼デー」制定の実現に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界水フォーラムにおける「世界湖沼デー」の制定に向けた発信</li> </ul> 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年秋に開催される国連総会での決議による「世界湖沼デー」制定の実現</li> </ul>
	○マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・MLGsの取組の広がり、MLGsの認知度の向上（県政世論調査認知度35%）、MLGsロゴマーク利用届出件数累計400件</li> </ul>
	○ヨシ群落の保全や利活用の推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・保全や利活用に関わる団体等の調査と把握</li> <li>・ヨシの更なる利活用に向けた関係者との協議と方向性の提示</li> </ul>
	○【見直し・効率化】協議等にデジタルサイネージを活用 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の即時修正など協議時間の短縮、紙使用量の削減</li> </ul>

所属名	循環社会推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○サーキュラーエコノミーへの移行を目指した「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」による機運醸成と実践行動の促進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」の認知度（約25%→35%以上）</li> <li>・「しがプラスチックごみ削減行動宣言」対象店舗数（332店舗→500店舗以上）</li> <li>・経済界との連携促進（動静脈産業連携セミナーの開催）</li> <li>・琵琶湖下流域の府県民と連携した「びわ湖の日」等の一斉清掃活動の実施（関西広域連合から各構成府縣市への呼びかけ）</li> </ul>
	○産業廃棄物不法投棄等不適正処理事案の未然防止・早期発見・早期解決 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物処理施設等の立入検査実施率 100%</li> <li>・産業廃棄物不法投棄等事案のうち新規発生件数の年度内解決率 85%以上</li> </ul>
	○【見直し・効率化】各種申請・届出の電子申請率の向上 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・淡海エコフォスター制度に係る届出（約55%→70%以上）</li> <li>・産業廃棄物処理実績報告書（58.1%→65%以上）</li> <li>・マニフェスト交付状況報告書（22.2%→30%以上）</li> </ul>

所属名	最終処分場特別対策室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○旧RD処分場の安定化プロセスの着実な推進 目標： ・水浄化システムの管理、必要に応じた維持補修を通じ、対策工の有効性の確認、安定化に向けた取組を着実に進める。
	○アーカイブの作成推進 目標： ・事案から得た教訓を後世に活かしていくため、7年度末を目標に、周辺自治会・県・市で構成する連絡協議会で編集を進める。本年度は、対策編の原案を取りまとめるとともに、総括編について原案の作成を行う。
	○【見直し・効率化】LoGoチャットを活用した現場管理の推進 目標： ・執務室と現場の職員間、さらには委託事業者との連絡やデータ送信などLoGoチャットを活用することで、維持管理業務に要する時間の短縮や効率化を図る。

所属名	下水道課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○市町や関係部局と連携した円滑な下水道事業の推進 目標： ・市町長との調整による令和7年度の事業計画の策定、および汚水処理施設整備構想の見直し（令和7年度まで） ・公営企業法の適用や上下水道の連携など、円滑な下水道事業の推進に向けた体制の検討
	○矢橋帰帆島・周辺地域活性化への貢献 目標： ・多様な主体と連携した魅力ある公園づくりの推進 ・淡海環境プラザの利活用の推進
	○バイオマス資源循環を含めた下水汚泥の有効利用の推進 目標： 東北部浄化センター次期汚泥処理方法の検討
	○【見直し・効率化】ペーパーレスの推進 目標： 協議資料等のペーパーレス化の徹底

所属名	森林政策課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○造林公社の抜本的見直し 目標： ・森林の公益的機能を見据えた100年の森づくりについて、森林審議会での議論3回程度、琵琶湖森林づくり基本計画に反映 ・検討委員会での議論3回程度、年度内に森づくりの方向性の取りまとめ
	○琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の見直し 目標： ・森林づくり県民税の見直しと併せて検討。 森林審議会での議論3回、税制審議会での議論3回程度。
	○「やまの健康2.0」の推進 目標： ・「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数 10企業
	○【見直し・効率化】森林情報データのオープン化による業務効率化 目標： ・森林解析図の活用により現地調査等を省力化するとともに、市町等と情報共有可能な森林クラウドを構築する。

所属名	びわ湖材流通推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○木材利用の促進 目標： ・木育拠点施設の年度末オープン ・建築物木材利用促進協定の2者以上との締結
	○「新しい林業」の推進 目標： ・ICT林業を实践する林業事業者のモデル地区の設定と人材育成2地区、1班 ・作業システムの構築および検証 ・林業事業者の基盤強化のための育成指導 15件
	○【見直し・効率化】調査にかかる事務手続きの省力化 目標： ・素材生産量調査について電子申請システム等を活用

所属名	森林保全課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○主伐・再造林（花粉の少ない品種への植え替え）の推進 目標： ・再造林面積40haの実施と林道・林業専用道等の計画的な整備を推進する。
	○高時川濁水対策の推進 目標： ・国・長浜市・庁内関係所属と連携して濁度測定等を継続するとともに、地元漁業関係者や学識経験者を交えた高時川濁水問題検討会議を年2回開催し、効果の検証と更なる対策の検討を行う。
	○国土強靱化対策の推進 目標： ・令和7年度事業採択に向けて山地災害危険地区の新規事業着手箇所数5箇所以上
	○【見直し・効率化】航空レーザ測量データを活用した業務効率化 目標： ・航空レーザ測量データを活用し、治山・造林事業の業務効率化を図る。

所属名	自然環境保全課					
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○伊吹山の保全</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・南側斜面の復旧に向けたロードマップ策定</li> <li>・高標高域におけるシカの効率的捕獲に向けた調査の実施</li> </ul> </p>					
	<p>○生物多様性しが戦略2024の推進</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然共生サイトの認定を促進するなど生物多様性保全の担い手を増加（保全）</li> <li>・企業・団体等の生物多様性の取組に対する認証制度の見直しやインセンティブの導入に向けた具体化（活用）</li> <li>・地域や企業など多様な主体が連携した調査等の取組を推進（行動）</li> </ul> </p>					
	<p>○【見直し・効率化】国の捕獲情報収集システムへの移行（県内狩猟免許所持者一元管理）に向けた準備</p> <p>目標：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟者台帳（紙）の電子データ化(3年計画)</li> </ul> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">登録人数</td> <td>令和6年度：約1,200人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和7年度：約 600人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和8年度：約 600人</td> </tr> </table> </p>	登録人数	令和6年度：約1,200人		令和7年度：約 600人	
登録人数	令和6年度：約1,200人					
	令和7年度：約 600人					
	令和8年度：約 600人					